

令和7年度 ロームシアター京都 指定管理業務自己評価書

1 業務実績及び概要

ロームシアター京都は、リニューアルオープン以来掲げる「劇場文化をつくる」というコンセプトのもと、より一層、管理運営及び自主事業の推進に努めてまいりました。これまでと同様に、「つながり（交流）」を全事業の包含する要素として位置づけ、「つくり（創造）」、「育て（育成）」、「活かす（生活）」の有機的なサイクルを作り上げました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や文化芸術を身近に親しむための取組を行いました。

令和7年度のラインアップテーマは「つづきのはじまりはじまり」。リニューアルオープン10周年を迎えた令和8年1月10日・11日には、「プレイ！シアター for the 10th anniversary」として劇場のオープンデーを実施し、多くのお客様にご来場いただき、節目をともにお祝いいただきました。

また、各施設の特性を生かして、舞台芸術公演や式典、学会、講演会などの様々な利用に供し、多くの方々にご来場いただきました。施設利用に係るサービスの充実や、安心、安全で快適な劇場空間の提供に努めました。

2 主催・共催事業に関すること

令和7年度の自主事業（主催・共催事業）は、39事業109公演15講座（うち中止1事業1公演）を開催し、総入場者数は61,993名でした。以下、項目ごとに実施した事業の特色や課題について記載します。

（1）文化芸術の創造及び振興に関する業務

ア 交流事業

海外アーティストによる上演、国際交流を促進する取組は、デンマーク、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、台湾などからの舞台が来日しました。第23回（2007年）京都賞受賞者で、32年ぶりの京都公演となったピナ・バウシュ／ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』、台湾を拠点とし、中国語圏の最初のコンテンポラリーダンスカンパニーでもあるクラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集）『WAVES』といった、設立50年以上の実績を持ち、今なお世界の最前線で活動を続けるダンスカンパニーの作品を紹介することができました。

さらに、ダミアン・ジャレ×名和晃平『PLANET[wanderer]』など、世界水準の演目によって、「創造発信拠点」としての存在感を発揮しました。公演に付随し、ワークショップや、「放課後かんげきプログラム」（若年者向けの鑑賞機会提供）、作品解説プレトークなどを実施し、アーティストと市民との交流機会創出に努めました。また、KYOTO EXPERIMENT（京都国際舞台芸術祭）などの国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業も好評裡の中、終了しました。

イ 創造事業

劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開しました。「レパトリーの創造」では、京都に拠点を置く若手に注目した「ホープス」シリーズを展開し、劇団不労社の西田悠哉、レトロニムの野村真人が、次年度以降の本公演に向け、ワーク・イン・プロGRESSを実施しました。

全国3つの公共劇場による全国共同制作オペラ 歌劇『愛の妙薬』では、京都に縁のある杉原邦生がオペラ初演出に挑み、「カワイイ」をキーワードに、祝祭感と多幸感あふれる作品を発表しました。

《継承と創造》シリーズでは、祝言の舞としても知られる「三番叟」を、狂言(能楽)、淡路人形芝居(人形浄瑠璃)、京舞(舞踊)、長唄(音曲)、早池峰岳神楽(神楽)と多様な芸能が一堂に会して「三番叟づくし」として一挙上演し、10周年にふさわしい公演となりました。

また、「レパトリーの創造」で製作・上演した市原佐都子/Q『キティ』(令和6年度製作)が3ヶ国(ベルギー、オーストリア、フランス)で、高谷史郎『Tangent(タンジェント)』(令和5年度製作)が中国・上海で、『ショールームダミーズ #4』(令和元年度製作)がドイツで、それぞれ招聘公演を行い、ロームシアター京都発のプロダクションを世界にも届けました。

ウ 育成事業

開館当初より継続する「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」の充実に加え、「劇場の学校」、「リサーチプログラム」「舞台芸術プロデュース講座」などの次代を担う若者を育成する事業を行いました。また、京都芸術センターと協働して行う35歳以下のアーティストの創造支援プログラム「KIPPU」や京都市ユースサービス協会と連携する劇場の仕事体験「未来のわたしー劇場の仕事ー」によって、将来的な人材育成に寄与する事業も行いました。

エ 生活事業

夏の「プレイ!シアター in Summer」、秋の「OKAZAKI PARK STAGE」と毎年好評の恒例イベントを中心に、子どもから大人まで劇場を満喫し、気軽に舞台芸術を体験できる催しを開催しました。また、地域文化会館と協働し、小さな子どもとその保護者向けの公演やワークショップを実施し、生活と密着したプログラムを展開したほか、京都市立芸術大学と協働した、「ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らう会」を実施しました。地域の市民を対象にボランティアスタッフを募り、運営に参画いただき実施しました。これら劇場と生活を結びつける機会の創出を目指し、オープンスペースの活用、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に努めました。「となりの劇場」では、左京区社会福祉協議会と共同し、久多・花背地域でのシニア層を対象とした演劇アウトリーチ事業を実施しました。

【主な事業(ジャンル別)】

● 演劇

- ・第375回～第379回 市民寄席(第379回のみ〈10周年記念事業〉)
- ・第74回 京都薪能「洛中洛外幽玄紀行」
- ・サファリ・P 第11回公演『悪童日記』
- ・作:ピンク地底人3号 演出:生田みゆき『燃える花嫁』
- ・能楽チャリティ公演～祈りよとどけ、京都より～
- ・〈10周年連携事業〉ゆうめい10周年全国ツアー公演『養生』
- ・〈10周年記念事業〉シリーズ《継承と創造》「三番叟づくし」
- ・レパトリーの創造 ホープス ワーク・イン・プログレス
アーティスト:西田悠哉(劇団不労社)、野村真人(レトロニム)

- ・『クワイエットルームにようこそ The Musical』
- ・〈10周年連携事業〉ニットキャップシアター『土曜日の過ごし方』
- ・〈10周年記念事業〉KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『未練の幽霊と怪物―「珊瑚」「円山町」―』



レパトリーの創造ホープス 西田悠哉 (劇団不労社)
『暗黒の喜劇』ワーク・イン・プログレス



<10周年記念事業> シリーズ《継承と創造》
『三番叟づくし』

● 舞踊

- ・オランダ・日本 共同インテグレイテッドダンス公演『UNUM』&『Iungo』
- ・プレイ！シアター in Summer 2025 <ステージプログラム>
- ・〈10周年記念事業〉ダミアン・ジャレ×名和晃平『PLANET [wanderer]』
- ・〈10周年記念事業〉ピナ・バウシュ／ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』
- ・〈10周年記念事業〉クラウド・ゲイト・ダンスシアター (雲門舞集) 『WAVES』



<10周年記念事業> ピナ・バウシュ／ヴッパタール舞踊団
『Sweet Mambo』



<10周年記念事業> ダミアン・ジャレ×名和晃平
『PLANET [wanderer]』

● 音楽

- ・KYOTOPHONIE in collaboration with MODE
サウンドウォーク・コレクティヴ & パティ・スミス:CORRESPONDENCES
- ・アンサンブル九条山コンサート vol.16
- ・Sound Around 005 アーティスト：細井美裕
- ・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2025 歌劇『魔笛』
- ・〈10周年記念事業〉「饗宴！5台のピアノと5人のピアニスト」
- ・〈10周年記念事業〉2025年度全国共同制作オペラ 歌劇『愛の妙薬』
- ・〈10周年連携事業〉加藤訓子&中村恩恵『PSAPPHA (プサッファ)』

- ・京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー2025（第3・4回は10周年連携事業）



新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2025
歌劇『魔笛』

● 総合／参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

- ・京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2025
- ・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”
- ・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
- ・プレイ！シアター in Summer 2025 <オープンデイ>
- ・岡崎活性化事業 OKAZAKI PARK STAGE 2025
- ・ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らう会
- ・舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ・劇場の学校
- ・ホリデー・パフォーマンス Vol.18～Vol.20
- ・いまを考えるトークVol.25～Vol.27

※Vol.27は、ロームシアター京都10周年・京都コンサートホール30周年記念事業として、小山田 徹×藤原辰史×鷺田清一 クロストークを開催

- ・〈10周年記念事業〉プレイ！シアター for the 10th anniversary<オープンデイ>



OKAZAKI PARK STAGE



プレイ！シアター 2025 in Summer

【事業開催実績】

別紙1参照

(2) 賑わいスペースに関する業務等の実施状況

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、

キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

令和7年度においても、ロームシアター京都が、舞台芸術のためだけでなく、より開かれた場として多くの方の交流の場となることを目指し、賑わいスペース事業者と連携し、生活文化等に関わる様々な文化事業を実施しました。

なお、キオスクとして運営していた「ファミリーマート ロームシアター京都店」は、令和7年6月末に閉店し、自動販売機コーナーに変更しています。

賑わいスペース事業 店舗等の概要

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ (パークプラザ1階)	京都岡崎 蔦屋書店	午前10時から午後8時
	スターバックスコーヒー	午前8時から午後10時
レストラン (パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前11時から午後10時
キオスク (サウスホール1階ホワイエ内)	(~6月末) ファミリーマート (7/17~) 自動販売機コーナー	午前8時から午後8時
ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	午前10時から午後5時 (開館時間等に応じて変更)

※臨時休館等により、変更の場合あり。

入店者数

区分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入店者数の実績値	1,708,053名	1,732,889名	1,745,810名	1,788,672名	1,474,894名

【文化事業開催実績】

別紙2参照

(3) 市内劇場文化の活性化に資する業務

前述【主な事業】の「● 総合/参加する劇場へ ~学芸・教育プログラム」にも記載のKIPPUにより、創作や上演の場の提供や制作業務の支援等による若手アーティストの発掘や育成等を行うことで、市内劇場文化の活性化につながる取組を進めており、今後こうした形で継続していくことが重要と考えています。

(4) その他施設の目的を達成するために必要な業務

ア 広報関連

主催・共催ラインアップ・リーフレット、催物カレンダーの作成、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組や、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供及び話題作りを行い、劇場への期待感と施設の認知度向上に継続して取り組みました。

また、「ラブライブ! 京都・大阪・神戸観光 空の旅! (日本航空株式会社)」や「歩いてたのしむ京都 (京都市)」など企業・行政と連携した地域周遊型のコラボレーション企画、京都府立図書

館や京都市動物園などの近隣施設と連携した展示を実施しました。さらに、「京都モダン建築祭 2025」への参画や、建築展示「京都会館／ロームシアター京都 65年の記録」の実施を通じて、京都会館から続く建築的価値の発信にも取り組みました。

このほか、リニューアルオープン10周年の広報として、「tupera tupera」によるメインビジュアルを館内で原画展示するとともに、「プレイ！シアター for the 10th anniversary オープンデイ」のチラシや、市内全域の市政広報版に掲出するポスターにも同ビジュアルを用いるなど、効果的な広報を実施しました。

イ 助成制度の活用等による事業の充実

企業からの協賛金や文化庁等の助成金にも積極的に申請し、獲得に向けた取組強化を行いました。特に、文化庁関係では令和6年度から複数年の助成金を獲得しています。

また、平成26年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についてご支援の輪をさらに広げるため、令和7年度から制度を充実しました。従来の寄付型「寄付で応援！コース」に加え、チケット割引や招待等の特典を備えたコース「鑑賞で応援！コース」を新設するとともに、若い世代に舞台芸術を支える大切さを知っていただくため「U29コース」を設けました。

主な助成金等

対象事業名	助成団体等
新国立劇場・高校生のためのオペラ鑑賞教室「魔笛」	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（バリアフリー）	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業）	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
レパートリー作品 「ショールームダミーズ #4」ベルリン公演	舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）／独立行政法人日本芸術文化振興会

主な協賛金等

対象事業名	助成団体等
新国立劇場・高校生のためのオペラ鑑賞教室「魔笛」	ローム株式会社
プレイ！シアター in Summer	ローム株式会社
全国共同制作オペラ 歌劇『愛の妙薬』	日東薬品工業ホールディングス株式会社
ダミアン・ジャレ×名和晃平 『PLANET[wanderer]』	RICHEMONT INTERNATIONAL（ヴァンクリーフ&アーペル）

ピナ・バウシュ／ヴッパタール舞踊団 『Sweet Mambo』	公益財団法人稲盛財団
市民寄席	多数(提灯協賛)

賛助会員数と寄附金額

会員区分	種類	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
スペシャルサポーター (法人)	寄付	1件 50万円	2件 100万円	1件 50万円	1件 50万円	1件 50万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	0件 0万円
サポーター (法人)	寄付	31件 340万円	17件 180万円	20件 210万円	24件 210万円	18件 190万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	4件 50万円
スペシャルパートナー (個人)	寄付	32件 162万円	16件 103万円	23件 105万円	25件 118万円	19件 85万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	9件 46万円
パートナー (個人)	寄付	45件 90万円	50件 100万円	45件 90万円	42件 65万円	33件 66万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	34件 68万円
U29コース (個人)		— —	— —	— —	— —	6件 2万円
少額寄付		— —	— —	1件 1万円	— —	— —
合計		109件 642万円	85件 483万円	90件 456万円	92件 443万円	124件 557万円

※令和7年度より制度見直し

ウ 地域活性化等

「(2) 賑わいスペースに関する業務等の実施状況」にも記載の店舗の運営やイベントの開催、CCCが開設している京都岡崎 蔦屋書店のWEBサイト等による情報発信などにより、岡崎地域の魅力向上に向けた取組を進めました。また、京都岡崎魅力づくり推進協議会とも連携し、同協議会が発行する「岡崎手帖」への催し情報の記事広告掲載を行いました。

さらに、ローム・スクエアを会場に、地域の団体等とも連携し開催した「OKAZAKI PARK STAGE」では、企画内容や事業形態を工夫して実施し、地域の活性化にも寄与できたと考えています。

エ 視察・見学等への対応

行政・自治体、教育機関、他劇場関係者など、令和7年度は13件の視察・見学を受け入れました。施設や事業内容の紹介を通じて、当館の取組の発信と関係機関との新たな接点づくりの機会となりました。また、京都市内の中学生による職場体験活動「生き方探求・チャレンジ体験」(京都市教育委員会)や、芸術文化観光専門職大学をはじめ、関西圏の大学生インターンの受け入れも行い、文化芸術の創作現場や、それらを支える劇場の仕事を体験し、理解を深める機会を提供しました。

3 施設管理運営に関すること

(1) 概要

令和7年度のロームシアター京都では、各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典、学会、講演会などの様々な利用があり、多くの方々にご来場いただくことができました。

多様な利用内容に伴う様々なニーズに応えられるよう、利用者やお客様のご案内、場内サービス、各種設備の運転等について、実際の利用状況や利用者からのご意見等を踏まえた改善を引き続き進め、安心、安全で快適な劇場空間の提供に努めました。

また、利用促進を図るため、特にサウスホールを平日利用に係る新たな割引制度を設け、運用を開始しました。

さらに、令和7年5月には、文化庁の京都移転を契機として始まった国内最大規模の音楽賞である「MUSIC AWARD JAPAN」授賞式及びライブパフォーマンスの第1回目が全館を使って開催され、大きな注目を集めました。

なお、10周年記念事業の一環として、期間中、共に10周年を盛り上げていただける施設利用者を対象に「10周年連携事業」を公募し、38件の応募がありました。連携事業は引き続き募集中です。

日数利用率

区 分		平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
メイ ンホ ール	利用率(日数)の目標値	83 %	82 %	81 %	81 %	81 %
	利用率(日数)の実績値	81 %	82 %	77 %	77 %	81 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	100 %	95.1 %	95.1 %	100.0 %
サウ スホ ール	利用率(日数)の目標値	82 %	76 %	80 %	80 %	80 %
	利用率(日数)の実績値	80 %	73 %	79 %	74 %	74 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	96.1 %	98.8 %	92.5 %	92.5 %
ノー スホ ール	利用率(日数)の目標値	75 %	74 %	72 %	72 %	72 %
	利用率(日数)の実績値	72 %	78 %	78 %	73 %	79 %
	目 標 達 成 度	96.0 %	105.4 %	108.3 %	101.4 %	109.7%

入場者数

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入場者数の目標値	510,000名	330,000名	500,000名	500,000名	500,000名
入場者数の実績値	497,784名	332,861名	352,568名	356,716名	431,988名
目 標 達 成 度	97.6 %	100.9 %	70.5 %	71.3 %	86.4 %

利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用料金収入の目標値	328,000 千円	339,994 千円	340,634 千円	360,314 千円	379,994 千円
利用料金収入の実績値	333,812 千円	343,413 千円	339,363 千円	361,511 千円	400,526 千円
目 標 達 成 度	101.8 %	101.0 %	99.6 %	100.3 %	105.4 %

ジャンルごとの月別入場者数

月	音楽	舞踊	演劇	学会・会議	講演	その他	計
4月	23,309	3,284	10	160	1,658	2,332	30,753
5月	14,845	641	0	5,000	855	1,090	22,431
6月	30,779	1,594	4,175	0	3,453	1,000	41,001
7月	25,666	2,118	1,400	0	6,588	4,464	40,236
8月	17,752	5,158	903	0	60	4,072	27,945
9月	21,400	3,759	2,785	50	2,011	11,520	41,525
10月	21,713	0	1,283	0	1,658	4,410	29,064
11月	17,117	6,231	3,445	0	2,031	3,965	32,789
12月	19,468	3,888	471	0	1,880	3,443	29,150
1月	10,470	1,200	11,003	0	2,708	6,978	32,359
2月	17,314	730	4,875	400	1,712	2,884	27,915
3月	23,525	3,454	422	51	2,200	9,590	39,242
計	243,358	32,057	30,772	5,661	26,814	55,748	394,410

※「令和7年度のジャンルごとの月別入場者数」は、メインホール・サウスホール・ノースホールの利用に係る入場者数。自主事業は財団調べ、貸館事業は利用者（主催者）調べ。

※年間入場者数 431,988 名には、上記入場者数 394,410 名に加え、会議室及びレッスン室 2,014 名ローム・スクエア及びその構内地 35,564 名を含む。

(2) 施設等の利用許可に関する業務

京都市京都会館条例及び同条例施行規則に基づき、施設の利用許可や利用料金の徴収などを行いました。

ホール利用受付件数

区分	平成30年	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
舞台芸術公演	312 件	371 件	338 件	388 件	406 件
その他催し	163 件	166 件	160 件	135 件	119 件
合計	475 件	537 件	498 件	523 件	525 件

(3) 舞台運営に関する業務

より良い催しの実現のため、舞台技術スタッフが、貸館担当スタッフとともに、施設利用者へのサポートや安全管理等を実施しました。日常的な機材メンテナンスや保守業者による点検作業等を計画的に実施したほか、舞台機構、照明、音響などの専門スタッフが、適切な管理や支援、トラブル対応等により、催しが安全な状況で確実に開催される状況を適切に維持しました。

(4) 場内サービスに関する業務

ホールの催しにおいて、お客様と直接接し、入場管理、安全管理等を行うレセプション業務については、その人数や配置等について、施設利用者（主催者）とも細かい調整の上、実施しました。

チケット販売のほか、来場者へ施設や公演の案内等を行っている総合案内においては、催しに応じた案内方法の工夫等を行いました。

なお、チケットについては、インターネットを活用した販売も行っており、インターネット経由で予約し、コンビニエンスストアでの発券を選択される方が増えている一方で、電話による予約やお問い合わせをされる方も多く、丁寧な対応を心がけました。また、年々多様化する電子チケットの入場受付についても、レセプションと連携し、スムーズに対応できるよう調整しました。メインホールとサウスホールに設置されたビューフェカウンターでは、各ホール本番利用の際の開演前、幕間等にビューフェサービスを実施いたしました。

(5) 施設設備及び備品の管理

これまでの運営で把握してきた建物の特徴や設備の具体的な特性等に基づき、利用状況や季節変動等を踏まえた日常の設備運用や保守点検、備品管理等を工夫し、安全で効率的な施設運営に努めました。特に、電気設備や舞台設備、空調、楽器（ピアノ）といった、施設の運用に重大な影響を与える設備等については、予防保全の観点から、あらかじめ定期点検の日程を確保し実施しました。

また、修繕等が必要となった場合には、速やかに対応するとともに、消耗品・備品等の管理も確実に行いました。その他の各種管理業務や各種有資格者の配置等についても計画通りに実施し、利用者の皆様に安心してご利用いただける施設環境を維持しました。

なお、オープンから10年を経て、送水管耐圧検査や消火器耐圧性能検査などへの対応や、二条通の植栽植え替えの対応、LED電球の耐用年数への対応など、今後ますます経年劣化等にかかる修繕や取替が必要になるため、設置者である京都市とも連携を強め、適切な管理運営を行えるよう務めます。

主な修繕等実施状況

内容
音響設備制御用パソコン更新
エレベーター7号機, 8号機修繕
ノースホールギャラリー下部分の天井修繕
パークプラザ1F西側鉄扉修繕（外扉）
エキスパンションジョイント部修繕

(6) ミュージックサロンの運営など

命名権契約を踏まえた施設運営として、適切な名称の使用や無償使用权への対応、広報スペースの運用等に努めました。なお、広報スペースの一部である、音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」においては、令和7年度は約5箇月間展示を実施しました。イベントに関しては、「「劇場の音楽室」での授業（ロビーコンサート）」を4回開催し、多くの方に来場いただきました。

実績 来場者数

区 分	平成30年	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来場者数の実績値	9,440名	2,970名	3,366名	6,058名	6,576名

ミュージックサロン 開催内容

事業期間	事業名・内容等	入場者数
7月16日（水）～ 9月7日（日）	【展示】 教科書の音楽を劇場で！「劇場の音楽室」 「教室の思い出」をテーマに、教科書や貴重な音楽資料を展示	2,246名
	「劇場の音楽室」での授業（ロビーコンサート） 「劇場の音楽室」の時間割 出演：京都市立芸術大学音楽学部学生	
7月19日（土）	①時間目 トルコ行進曲とトロンボーンの魅力 出演：トロンボーン四重奏 お話：森田龍舞	74名
8月19日（火）	②時間目 打楽器尽くしの学校の日 出演：打楽器トリオアンサンブル お話：荒川美玖	79名
8月26日（火）	③時間目 夏と鳥とヴィヴァルディと 出演：弦楽アンサンブル お話：平野花実	152名
9月2日（火）	④時間目 「朝」から晩まで世界旅行 出演：木管アンサンブル お話：三宅照久	128名
9月12日（金）～ 12月7日（日）	【展示】 オペラの扉2025 ～ KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION ～ 舞台芸術の魔法。ファンタジーオペラ展 新国立劇場が制作したオペラの中でもファンタジー作品に スポットをあて、舞台写真や衣装、舞台装置模型を紹介。	4,330名

4 事業執行体制等に関すること

(1) 人材の確保、配置、研修等

ア 職員数

提案書記載の計画をもとに、下記の体制で運営にあたりました。

区 分	計 画	令和7年度 (4/1 現在)
副館長	(1) 名	1 名
総務部長	(1) 名	—
管理担当	(14) 名	14 名
事業担当	(9) 名	11 名
舞台担当	(8) 名	8 名
計	(33) 名	34 名

イ 研修の実施

職員研修の実施実績 (当財団全体)

令和7年7月15日 (火)	接遇マナー研修
令和7年9月2日 (火)	経理研修

ロームシアター京都 独自研修の実施実績

令和7年7月9日 (水)	KYOTO EXPERIMENT 職員研修
令和7年12月18日 (木)	屋外消火栓講習
令和8年3月9日 (月)	舞台芸術懇話会「カスタマーハラスメントについて」

(2) 再委託業務

特に専門性の高い分野の業務については、委託により実施しました。また、一部の業務については、利用者サービス向上の観点から、業務の安定的な実施と質の向上のため、契約期間を2箇年とし、プロポーザル型の業者選定を行っています。それぞれの委託先とは日常的な情報共有や定期的な協議などにより、業務を円滑に実施できるよう努めています。

主な委託業務は下記のとおりです。

委託内容	業務内容
舞台管理運営業務 (2箇年契約)	ホールの舞台、照明、音響の進行及び運営管理(舞台設営・撤去、舞台設備管理等)
会場案内・場内整理業務 (2箇年契約)	会場案内・場内整理等
施設・設備の保守管理業務 (2箇年契約)	施設・設備の保守・管理(電気設備・空調設備・給排水衛生設備・消防設備・その他建物に付属する機器等)

清掃業務 (単年契約)	施設・敷地内の日常清掃（ホール内、各部屋、トイレ、ゴミ収集、屋外等）・定期清掃（トイレ、床、ガラス窓）
警備業務 (単年契約)	施設屋内外の人的警備

(3) 施設運営の充実に向けた取組

ロームシアター京都の中長期的なビジョンやミッションに対して助言をいただくことを目的として、文化政策や劇場管理、舞台芸術に携わる専門家等の外部委員で構成する「ロームシアター京都運営懇談会」を開催し、ロームシアター京都10周年事業や、劇場のミッション・ビジョンについて助言をいただきました。

また、舞台芸術全般に共通する課題等のトピックスを取り上げ、最新の事例を学ぶとともに、関係団体との交流を図る「ロームシアター京都舞台芸術懇話会」においては、令和7年度はカスタマーハラズメントをテーマに開催しました。

5 収支に関すること

利用料金収入は、自主事業における10周年記念事業の実施に加え、大規模な貸館事業等があったことから目標額を上回りました。支出においては、光熱水費等の高騰が続いたこともあって750千円の赤字となりました。

	令和7年度（千円）	
	予算	決算
収入の部		
指定管理料	369,143 千円	369,143 千円
利用料金収入	379,994 千円	400,526 千円
事業収入	211,558 千円	206,904 千円
その他収入	97,851 千円	108,686 千円
収入計	1,058,546 千円	1,085,259 千円
支出の部		
人件費	295,733 千円	305,846 千円
事業費	350,077 千円	349,566 千円
物件費	407,398 千円	430,597 千円
光熱水費	66,120 千円	80,504 千円
その他支出	341,278 千円	350,093 千円
支出計	1,053,208 千円	1,086,009 千円
収支差額	5,338 千円	△750 千円

6 まとめ

令和7年度のロームシアター京都は、8年間（令和元年度から8年度）の指定管理者として後期期間の3年目を迎える年でした。指定管理最終年度も、指定管理者申請書及びロームシアター京都中間評価報告書で提案した取組について、引き続き推進してまいります。

令和8年1月にロームシアター京都はリニューアルオープン10周年を迎えました。オープンデーの開催や大規模海外作品の招聘、これまでアーティストと築き上げてきた関係性を生かした作品を発表するとともに、貸館においても、公募による連携事業に多くの施設利用者の参画を得て、祝祭感を演出いたしました。

施設管理運営の面では、オープンから10年を経過し補修や修繕の必要性がこれまで以上に懸念されることから、機能を適切に維持するため、施設所有者である京都市による修繕とともに、施設利用者や観客、スタッフ等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいくことも重要と考えます。

令和8年度も、引き続き10周年記念事業を展開いたします。開館以来築いてきた人的、物質的な資産を生かし、劇場の価値を次なるステージに繋げることで「劇場文化をつくる」というコンセプトの実現に引き続き取り組みます。

今後とも、国内外の情勢変化や社会的要請にも着実に対応し、各事業や各業務を進めていくことで、指定管理業務における目標の達成に向けて施設運営を行ってまいります。